
せつな

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
せつな

【コード】
N18920

【作者名】
ごほんライス

【あらすじ】
短いお話です。引きこもりのお話。作者、数年間引きこもりの経験があります。

せつなは元気な小学五年生。

ただ元氣すぎて、今日、職員室に呼ばれた。男子児童を二階から放り投げて大怪我させてしまったのだ。

「なんであんなことしたんだ」

「おもしろくてつい」

「ついじゃない！」

そんなせつなも恋をする。友達の欲子の兄に恋してしまった。欲子の家に行ったとき、冷蔵庫の中のジュースを取りにきた欲子の兄も、
「あ。待ちなさい」

「か、かつこいい」

「???ただの引きこもりだよ。もう三年も部屋から出てないよ」

「恋にそんなの関係ない！」

せつなは、思い立ったらすぐに行動に出ないと気がすまないタイプ。

「あ。待ちなさい」

欲子の言うことも聞かず、二階に上がり、もしかや太郎の部屋のドアをノックする。返事なし。ドアノブをがちゃがちゃひねり開けようとするが鍵がかかっていて開かない。

その夜、せつなは、家を抜け出し、欲子の家へ行った。

庭にある木をよじ登る。もちろん、お目当ては、もしかや太郎の部屋だ。電気がついているので起きているのであろう。

せつなはすとんとベランダに着地し、もしかや太郎の部屋の窓を開けた（まさか窓から入ってくるとは思ってないので、鍵がかかっていない）

カーテンが閉めてあったので外から中の様子がわかってなかった。

だから、中を見てびっくり。

もしかや太郎が青い海で泳いでいたのだ。

さんと照る太陽。せつなの足元は、白い浜辺。カニが歩いている。

「は????なぜ、部屋の中が海?????」
「もしか太郎は実に気持ちよさそうに泳いでいる。一心不乱に泳いでる。」

「ま。いつか」

せつなはあまり気にしないタイプ。

服を脱いで、せつなも海に飛び込んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1892o/>

せつな

2010年10月9日21時47分発行